

[ 東京大学 2006 年前期 理科 1 ]



O を原点とする座標平面上の 4 点  $P_1, P_2, P_3, P_4$  で、条件

$$\overrightarrow{OP_{n-1}} + \overrightarrow{OP_{n+1}} = \frac{3}{2} \overrightarrow{OP_n} \quad (n = 2, 3)$$

を満たすものを考える。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $P_1, P_2$  が曲線  $xy = 1$  上にあるとき、 $P_3$  はこの曲線上にはないことを示せ。  
 (2)  $P_1, P_2, P_3$  が円周  $x^2 + y^2 = 1$  上にあるとき、 $P_4$  もこの円周上にあることを示せ。



- (1)  $\overrightarrow{OP_n} = \vec{p}_n$  ( $n = 1, 2, 3, 4$ ) とおくと、

$$\vec{p}_{n+1} = \frac{3}{2} \vec{p}_n - \vec{p}_{n-1} \quad (n = 2, 3) \quad \cdots \textcircled{1}$$

$P_1, P_2$  が曲線  $xy = 1$  上にあるとき  $P_1\left(p, \frac{1}{p}\right), P_2\left(q, \frac{1}{q}\right)$  とおけて

$$\vec{p}_3 = \frac{3}{2} \vec{p}_2 - \vec{p}_1 = \left( \frac{3}{2}q - p, \frac{3}{2} \cdot \frac{1}{q} - \frac{1}{p} \right) \text{ となり、これが } P_3 \text{ の座標である。}$$

$$x \text{ 成分と } y \text{ 成分の積は } \frac{9}{4} + 1 - \frac{3}{2} \left( \frac{q}{p} + \frac{p}{q} \right) \quad \cdots \textcircled{2}$$

であり、 $p, q$  が異符号ならば  $\textcircled{2} > \frac{13}{4}$  である。

$$\text{また、} p, q \text{ が同符号ならば、} \textcircled{2} \leq \frac{13}{4} - \frac{3}{2} \cdot 2 \sqrt{\frac{q}{p} \cdot \frac{p}{q}} = \frac{1}{4}$$

となり、いずれにしても、 $\textcircled{2} \neq 1$  であるので  $P_3$  は曲線  $xy = 1$  上にはない。

- (2)  $|\vec{p}_1| = |\vec{p}_2| = 1$  とする。

$$\begin{aligned} \text{このとき、} |\vec{p}_3|^2 &= \left| \frac{3}{2} \vec{p}_2 - \vec{p}_1 \right|^2 \\ &= \frac{9}{4} \cdot 1^2 + 1^2 - 3 \vec{p}_1 \cdot \vec{p}_2 \end{aligned}$$

よって、 $|\vec{p}_3|=1$  となる条件は  $\vec{p}_1 \cdot \vec{p}_2 = \frac{3}{4}$  …③

$$\text{また, } \vec{p}_4 = \frac{3}{2}\vec{p}_3 - \vec{p}_2 = \frac{3}{2}\left(\frac{3}{2}\vec{p}_2 - \vec{p}_1\right) - \vec{p}_2 = \frac{5}{4}\vec{p}_2 - \frac{3}{2}\vec{p}_1$$

したがって、③が成り立つとき

$$|\vec{p}_4|^2 = \frac{25}{16} + \frac{9}{4} - \frac{15}{4}\vec{p}_1 \cdot \vec{p}_2 = 1$$

よって、 $P_4$  も円  $x^2 + y^2 = 1$  の周上にある。